

かすかべ KASUKABE 議会だより

2019(平成31)年2月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第54号

謹んで新春のおよろこびを申し上げます
春日部市議会議員一同



平成30年度 春日部市議会 議会報告会

(議席番号順)	中栗武小岩栄海河山会鈴木古山吉永滝金並今松佐水石大卯坂榛酒井	議 員	副 議 長	議 長
	川原 久保谷 老原 井崎田木村沢口田田澤子木尾本藤沼川野月卷野谷上	荒 木	丸	
	信幹博一寛光美 幸一圭耕剛 飛英 敏安浩 日友と武勝 和英	洋	裕	
朗司也史弘美男久進一利一作一稔鳳明進恵徳一一夫和子彦則博秀治	美	史		



平成31年1月1日現在
人 口 234,598
男 116,528
女 118,070
世帯数 106,658

ウメ

主 な 内 容

- 主な議案の紹介…………… 2～3 ページ
- 審議結果…………… 4 ページ
- 一般質問…………… 5～14 ページ
- 傍聴して一言…………… 14 ページ
- 閉会中の委員会活動…………… 15 ページ

指定管理者の指定（5議案）を可決

- ・春日部市立第9保育所、春日部市立春日部子育て支援センター及び春日部市春日部第2児童センター
- ・春日部市立庄和第一保育所及び春日部市立庄和子育て支援センター
- ・春日部市放課後児童クラブAブロック
- ・春日部市放課後児童クラブBブロック
- ・春日部市放課後児童クラブCブロック

指定管理者を指定

指定管理者の指定について、

議案第102号は、春日部市立第9保育所、春日部市立春日部子育て支援センター及び春日部市春日部第2児童センターにおける現在の指定管理者の指定期間が満了することに伴い、新たに指定管理者を指定するものです。

指定管理者候補者の選定に当たっては、指定管理者募集要項に基づき応募申請のあった1団体について、指定管理者候補者選定委員会において事業計画の内容や事業提案を審査し、平原学園・アクティオ共同事業体を指定するものです。

議案第103号は、春日部市立庄和第一保育所及び春日部市立庄和子育て支援センター

ーにおける現在の指定管理者の指定期間が満了することに伴い、新たに指定管理者を指定するものです。

指定管理者候補者の選定に当たっては、指定管理者募集要項に基づき応募申請のあった1団体について、指定管理者候補者選定委員会において事業計画の内容や事業提案を審査し、株式会社コピーアンドアソシエイツを指定するものです。

議案第104号から106号は、春日部市放課後児童クラブにおける現在の指定管理者の指定期間が満了することに伴い、新たに指定管理者を指定するものです。現在39クラブある春日部市放課後児童クラブを一括で委託していますが、次期指定管理者に当たっては、人材の確保など、より一層の運営の安定を図るた

め、市内を3つのブロックに分割し、Aブロック、Bブロック、Cブロックとし、それぞれ募集しました。

指定管理者候補者の選定に当たっては、指定管理者募集要項に基づき応募申請があった各ブロックのそれぞれ2団体について、指定管理者候補者選定委員会において書類審査やプレゼンテーションを実施し、事業計画や提案内容について審査を行った結果、株式会社トライグループを春日部市放課後児童クラブAブロックの指定管理者候補者として指定するものです。

また、Bブロック、Cブロックの指定管理者候補者の選定に当たっては同様の手続を行った結果、株式会社トライグループを指定管理者候補者として指定するものです。

【賛成多数で原案可決】

討論

指定管理者制度をやめ、市が直接運営すべきであるため反対（日本共産党）

議案第102号は、第9保育所と子育て支援センター、

第2児童センターの指定管理をこれまでどおり平原学園・アクティオ共同事業体に指定するというものです。第一に、福祉分野を民間に任せ、営利の対象にすること自体が問題です。民間のノウハウを活用したほうがよいというのは、市職員の能力を過小評価し、責任を放棄するものです。第二に、継続性という点でも問題があります。今後も継続していける保証はありません。アクティオ株式会社は、民間企業ですから経営破綻する可能性がないわけではありません。万が一そうなれば、平原学園の指定も取り消されることとなります。第三に、ワーキングプアを生み出すことが問題です。指定管理者の最大の目的が経費削減とされ、それが低賃金につながっています。

以上の理由から、指定管理者制度をやめ、市が直接運営

すべきであり、この議案に反対します。

保育所は市が直接責任を持って運営することを強く求め反対（日本共産党）

議案第103号は、春日部市立庄和第一保育所及び春日部市立庄和子育て支援センターの指定管理者を引き続き株式会社コピーアンドアソシエイツに指定するというものです。反対する第一の理由は、継続性の問題です。事業者がかわれば子供たちにかかわっていく職員もかわるといこととです。小さな子供たちにとって環境の大きな変化は心身の成長に大きな影響を与えます。第二に、処遇の問題です。指定管理者制度の目的の一つは経費の削減です。そのために人件費を削らざるを得ないというのが現状です。官製ワーキングプアを生み出すこととなります。そして、何よりも子供たちの保育を利益を目的とした株式会社委託し、安定して保育に携わってもらっているのですよと市が第三者的に発言すること自体が問題です。保育所は、市の子供たちを育て、豊かな成長を保証する場所です。市が直接責任

を負うべきであり、この議案に反対します。

を持って運営することを強く求め、この議案に反対します。

より一層の市民サービスの向上が期待できる点と安定した運営が見込まれるため賛成（新政の会）

議案第102号は、指定管理者候補者選定委員会において、書類審査や事業計画書に基づくプレゼンテーションを実施し、厳正に審査した結果、平原学園・アクテイオ共同事業体を指定管理者候補者に選定したものです。平原学園・アクテイオ共同事業体は、今回で3期目の受託となります。市が求める保育内容や子育てサービスの必要性を十分に理解した上で、民間ノウハウを生かし、保護者のニーズに即したさまざまな事業を展開していることから、新たな自主事業の展開や保護者との信頼関係の構築が期待できるものと考えています。今後においてもこれらの豊富な運営実績のもと、安定した運営が見込めるとともに、より一層の市民サービスの向上が期待できる点を評価し賛成。議案第103号も、提案されている団体、株式会社コピートアンドアソシエイツは、本議案同様、豊富な運営実績、民間手法を

生かしたサービス、安定した運営が見込まれるため賛成。

市が責任を持って運営することを強く求め反対（日本共産党）

春日部市の学童保育は、一朝一夕にでき上がったものではなく、保護者、指導員を初めとする地域住民、市民の切実な運動によってでき上がったものです。この議案は、来年から5年間、春日部市に縁もゆかりもない大阪市の営利を目的とした株式会社トライグループに指定管理を指定するというものですが、これは長年にわたって築き上げられてきた市の学童保育をないがしろにするものです。学童保育は何よりも継続性、安定性、専門性が最も求められる事業です。学童保育という福祉の根幹に当たる子育て事業を営利を目的とする株式会社指定管理するということは、子育て日本一を標榜する春日部市のやることではありません。子供たちが安心して放課後や土曜日、夏休みなど、豊かな遊びや生活が保障できるよう、市が責任を持って運営することを強く求め、議案第104号に反対します。なお、議案

第105号、106号も同様の理由により反対します。

通っている子供たちや保護者が混乱しないよう強く要望し賛成（新政の会）

この議案は、指定管理者候補者選定委員会において、厳正に審査した結果、株式会社トライグループを指定管理者候補に選定したものです。また、市が求めている支援員の確保が現実的であること、自主事業やサービス向上のための方策や管理執行体制がすぐれていることなどにより、利用者の満足度がある良質な保育サービスの提供が期待できるとの説明もありました。今後、執行部においては現在の保育環境に影響が生じないよう、必要な支援員が確実に確保され、放課後児童クラブの安定的な運営に役立て、指定管理者の変更に伴う綿密な引き継ぎなど十分に留意いただき、サービスの質の向上と持続性の確保と、何より放課後児童クラブに通われている子供たちや保護者が混乱することのないよう強く要望し、議案第104号に賛成します。また、同様の理由で、議案

第105号及び106号についても賛成します。

何よりも子どもたちを第一に考えることを願ひし賛成（前進かすかべ。未来の会）

放課後児童クラブの運営をA、B、Cと3ブロックに分けて指定しますが、全てにおいて株式会社トライグループが選定され、提案がなされました。これまで働いてきた現指導員の雇用に関しては、市が決めることではありません。しかしながら、これまで指導員が培ってきた経験や思い、そこから来る声にも耳を傾けたい。そこで、以下、意見を付して賛成をします。これまでも指定管理者を担ってきた社会福祉協議会は、純然たる民間企業ではなく、市と近い位置にあったことを踏まえ、これまでと違う民間企業が担う上で十分に監督する立場として管理を徹底いただき、確実に保育の質を確保すること、現在の指導員の雇用継続に関して、次期指定管理者へ働きかけを行うこと、それをもつて設置者たる市としての責任を全うすることを求めます。そして、何よりも子供たちを第一に考えることを願ひし、

議案第104号、105号、106号に賛成します。

指定管理者制度とは

指定管理者制度は、地方自治体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理について、株式会社をはじめとした民間事業者などに任せることを可能にした制度です。

指定管理者が行う施設の管理は、清掃、警備業務といった個々の業務を委託契約で請け負うのではなく、地方公共団体から委任された施設の管理者として、地方公共団体に代わって管理を行うものです。指定管理者が行うことのできる業務の範囲は、施設それぞれの条例で定められ、施設の設置目的に沿った施設運営業務全般を包括的に行うことも可能です。

本市では現在、上記の放課後児童クラブや保育所等のほか、ウイングハットや市民武道館などの各体育施設、庄和総合公園や内牧公園などの各公園、道の駅庄和、各図書館、男女共同参画推進センターや市民活動センターなど59施設に指定管理者制度を導入し、住民サービスの向上と経費の削減を図っています。

12月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か べ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議案第 98 号	職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 99 号	手数料条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 100号	環境センター条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 101号	水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 102号	指定管理者の指定 (市立第9保育所、市立春日部子育て支援センター及び春日部第2児童センター) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 103号	指定管理者の指定 (市立庄和第1保育所及び市立庄和子育て支援センター) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 104号	指定管理者の指定 (放課後児童クラブAブロック) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 105号	指定管理者の指定 (放課後児童クラブBブロック) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 106号	指定管理者の指定 (放課後児童クラブCブロック) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 107号	平成30年度一般会計補正予算 (第4号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 108号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 109号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 110号	平成30年度介護保険特別会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 111号	平成30年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 112号	平成30年度水道事業会計補正予算 (第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 113号	平成30年度病院事業会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 114号	平成30年度下水道事業会計補正予算 (第1号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 115号	監査委員の選任につき同意を求める [遠藤 眞佐利 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○
議案第 116号	教育委員会委員の任命につき同意を求める [岡田 新司 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○
議案第 117号	旧商工振興センター解体工事請負契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 118号	平成30年度一般会計補正予算 (第5号) (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○

請 願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請願名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か べ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
請願第 6 号	酷暑から春日部市民の命と健康を守る対策を求める請願 (厚生福祉)	不採択	×	×	×	○	×
請願第 7 号	憲法改正にあたっての国民合意・慎重審議を国会に対して意見書上申することを求める請願 (総務)	不採択	×	○	×	○	× ○
請願第 8 号	市立小・中学校の体育館にエアコン設置を求める請願 (教育環境)	不採択	×	○	×	○	×

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か べ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議第 23号議案	認知症施策の推進を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○
議第 24号議案	Society5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○
議第 25号議案	後期高齢者医療の窓口負担の引き上げに反対する意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	× ○
議第 26号議案	くらしも景気も壊す消費税増税の中止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	× ○
議第 27号議案	春日部市放課後児童クラブの充実を求める決議 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	×

一般質問

市民の声を市政に



議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に28人が登壇

北春日部駅周辺の 土地区画整理事業について



金子 進
議員

現在、北春日部駅周辺地区土地区画整理準備会が立ち上げられ、月1回のペースで役員会を開催し、事業計画の検討等、熱心な議論が展開されています。土地区画整理によって自分の土地がどのように活用され、事業費や減歩率などのくらいになるのかなど関心が高まっています。そこで①事業の進捗状況、②業務代行方式の導入、③市の助成の考え方について伺います。

○都市整備部長

①地権者を主体とした土地区画整理準備会では、今年度8回の役員会と1回の総会を通じ、土地利用計画等を含めた事業計画の検討と業務代行方式の導入を進めてきました。今後は、工事費や保留地販売等の収支を盛り込んだ資金計画を検討し、これらを総括した事業計画を策定し平成31年3月に予定している総会に諮り、3月から4月にかけて事

業計画と組合設立に対する仮同意を取得する予定です。

②現在は、業務代行者の前段階である事業協力者として民間企業の参画を募集し、今月にはプロポーザル審査を実施し、平成31年3月に事業協力者の決定を目指しています。

③多くの市民が利益を享受できる幹線道路などの公共施設に対しては、整備費用の一部を負担していく考えです。

このほか

○平成31年度当初予算の編成について

○春日部市における犯罪被害者支援について

ふるさと応援寄附金の返礼品は適正なものに



松本 浩一
議員

平成20年度から始まった「ふるさと応援寄附金」は、地域の活性化を目的として始まりました。

春日部市では、27年度から返礼品を実施し、30万円以上の寄附者の返礼品のほとんどは総桐たんすでした。28・29年度に送付された総桐たんす

は174件です。

2年間で174件もの総桐たんすを市内で製造することはできません。総桐たんすの協力事業者は、春日部桐たんす組合と、飯島桐箆筒製作所の2カ所です。組合が取り扱ったものがほとんどで、どこで製造されたものかわかりません。組合長はさいたま市に在任し、「市内在住・市内で製造、加工」という要件を満たしていません。総桐たんすは40万円以上でなければ製造できず、30万〜50万円などの寄附者には送付できないはず

伝統的工芸品としての価値を低め、市の信用を失墜させるものです。寄附者に真実を知らせ対応すべきと考えますが、どうですか。

○財務部長

春日部桐たんす組合は協力事業者としても募集するお礼品としても要領に適合しており問題ないと認識しています。

○市長

ふるさと納税の趣旨に適合した内容で進めています。

このほか

○豊野・赤沼地域活性化のために環境センターに温水プールなどの複合施設建設を

放課後児童クラブについて



小久保博史
議員

先日の質疑において、社会福祉協議会が放課後児童クラブの運営から撤退する理由が明らかになりました。私も、今回のこの事態は本当にどうにかならなかったものかと大変残念に思っています。しかしながら、放課後児童クラブを利用して子供たちや保護者が一番望んでいることは、4月以降も現在のクラブ環境が継続され、安心して通えることです。事業者任せにせず、社会福祉協議会の保育内容が確実にトライグループに引き継がれるよう、しっかりとお願いいたします。では実際に、指定管理者が交代となる春休み期間中の保育については、どのように行うのか伺います。

○こども未来部長

3月中の春休み期間は、現指定管理者と新指定管理者による合同保育の実施を求めています。4月1日以降においては、入学

前の新1年生もクラブに登室してきますので、春休み期間中においては、より一層子供たち一人一人に対する保育の配慮が必要となります。このようなことから放課後児童クラブの運営において、これまで培った保育のノウハウが確実に継承され、変わらぬ環境のもと、安心・安全な保育が提供されるよう、トライグループ及び社会福祉協議会に適切な働きかけを行ってまいります。

このほか
○スマホで市民協働事業について



備後放課後児童クラブ

指定避難場所でもある
小中学校の体育館に
エアコン設置を



坂巻 勝則
議員

気象庁は今年の夏の猛暑を「災害」と指摘しました。消防庁の発表によると、5月から9月までに熱中症で救急搬送された方は、全国で95,132人。うち160人の方が亡くなっています。本市でも小中学校での救急搬送が15人に上りました。

国も熱中症対策に乗り出し、2017年に学校体育館には「緊急防災・減災事業債」を使いエアコンの設置が可能と通達を出しました。これは、起債充当率100%で、事業費の70%を国が補助するもので、実質的な市の負担は30%となる大変有利な制度です。

しかし、現時点で2020年度までの緊急制度のため、早急な対応が必要です。

朝霞市では、この事業債を活用し、2017年度から全15校の体育館と武道場にエアコン設置事業を進めており、今年度、小学校3校の体育館

にエアコンが設置されました。エアコンが稼働すると外気温が35度でも体育館の中は25度まで下がりました。

春日部市も、子供たちの命と健康を守るためにも、有利な制度が期限切れになる前に、緊急避難所ともなる体育館にエアコン設置を進めるべきだと思いますが市長の考えを伺います。

○市長
特別教室のエアコン整備に向けて検討を進めていきます。

このほか
○危険なブロック塀の対策は急務

「音楽のまちかすかべ」
をめざすこと



水沼日出夫
議員

平成30年、かれこれ9回目を迎えたわがまちのかすかべ音楽祭。今年も広報かすかべのかすかべ音楽祭2018の特集で、音楽祭の顔ぶれが巻頭をにぎわしました。

音楽祭としての歴史は浅い中で、長期にわたる本市中学生による合唱やマーチングな

どの全国的な活躍も相まって、急速にビッグになってきた近年のかすかべ音楽祭のご自慢やオリジナリティーとしてはどのようなことがありますか。

また、今後「音楽のまちかすかべ」のイメージをブランド化していくにあたり、かすかべ音楽祭に代表されるステイセールズをどのように展開し、定着を図るか伺います。

○総合政策部長

特徴的なイベントの一つとしては「プラス・ジャンボリンかすかべ」があり、自治体主催、運営していることは全国的にも例のないものとなっています。また、「まちかどコンサート」などの関連イベントとの連携を図ることにより、11月は「音楽のまちかすかべ」が体現されている音楽月間となっています。

今後より多くの地域に効果的な情報発信をしていくことでブランド化を目指し、愛着や誇りを育てていきたいと考えています。また、多くの方に本市を訪れていただくために、内容の充実にも努めたいと考えています。

このほか

○空家等リノベーション助成制度について

空家対策について



滝澤 英明
議員

本市でも空家が目立つようになりました。そこで以下伺います。①空家の現状について②空家対策の進捗状況について③空家でも本市の住民サービス（消防・道路整備・防災等）を住んでいる方と同様に受けている持ち主に一定の個人住民税の納付をお願いすべきと考える。私の実家、上田市では個人住民税の家屋敷課税を実施している。この制度の概要と現状について④県内他市の導入について⑤本市での導入について

○都市整備部長
①平成29年7月に実態調査を完了し、空家等の件数は1108件となっております。②春日部市空家等対策計画を平成30年3月に策定し、今後とも同計画に基づき関係部署や関係団体と連携を図り空家対策に取り組んでまいります。

○財務部長
③家屋敷課税は、その年の1

月1日現在で市内に居住可能な独立性のある住宅を有し、その住宅が貸付目的でないこと、市外に住所地を持ち、そこで住民税を課税されている市外在住者に課税を行うもので、上田市では年間16000件程度の課税で収入は約500万円と想定されます。④県内39市中14市で導入しています。⑤今後、課税実績のある自治体の例を参考にしながら課税をする場合の課題の整理に取り組んでまいります。

このほか
○春日部市職員の再任用について

災害時の医療救護について



中川 朗
議員

平成30年は豪雪、地震、豪雨、台風など日本列島が多く、災害に襲われ、尊い人命が失われました。今後30年以内に南関東地域でマグニチュード7規模の地震が発生する可能性は70パーセントとも言われている中、災害発生時の医療救護に対する取り組みとし

て、春日部市災害時医療救護活動マニュアルについて、どのようなものか伺います。

また、今後の春日部市における救護活動について、どのように考えているか伺います。

○健康保険部長

マニユアルでは大規模災害発生後72時間以内の医療救護活動の仕組みを定めており、発生時に市役所内に災害医療本部を立ち上げると同時に市内5カ所に医療救護所を開設することや、医療救護所においてトリアージの実施及び医療救護活動を行うこと、また平時には本部や救護所の環境整備や、医療救護訓練を実施すること等を明記しています。

今後の救護活動については、常に災害による脅威を意識しつつ、万が一に備え、各関係機関との連携のもと、継続して取り組むことが重要と考えています。併せて、災害による被害を最小限に抑える「減災」につながるよう、これらの取り組みを継続的に周知していきたいと考えています。

このほか

○指定管理者制度導入後の図書館運営について
○健康づくり計画・食育推進計画・自殺対策計画について

本市の強みを活かし、時代に即した市のPRについて



栄 寛美
議員

私は、愛するまち春日部市を魅力あふれる「人々から選ばれるまち」にしていきたいと考えます。そこで以下伺います。①第2次シティセールス戦略プランにおける現在の取り組み状況とそのターゲットについて②自治体によるPR動画の公開が盛んで、大きな反響を呼び、成果を得ている自治体もあるが、市の考えは③クレヨンしんちゃんの活用では市内経済活性化になるミュージアムなどが必要と多くの声があるが、市の考えは

○総合政策部長

①春日部のことをよく知らない無認知層に対して市を認知してもらおうことを主眼に、千葉県野田市、東京都足立区、神奈川県海老名市に住む未就学児の子育てをしており、都心に通勤している方、あるいは賃貸住宅にお住まいの方をメインターゲットに設定し、プロモーションを行っていく

ます。

②本市でも4月から5月にかけてPR動画を制作し、映画上映前の広告として流すシネアドや、市の動画チャンネルでの配信を予定しています。

③クレヨンしんちゃんを活用した施設の建設については、場所や規模、実施主体、経費など検討、整理すべき課題が多いため、今後も引き続き双葉社、埼玉県、東武鉄道等、関係者と協議していきたいと考えています。

このほか
○市民との協働のまちづくりについて



公用車について



海老原光男
議員

近年では、さまざまな公共施設において防犯設備が充実しており、防犯カメラでの撮影なども正しい運用を行えば犯罪の抑止効果や証拠映像としての効果が実証されています。また、自動車に設置されたドライブレコーダーにも同様の効果が期待されています。公用車は日々市内のさまざまな場所で運行されていることから、ドライブレコーダーを設置することで、防犯の観点から市民の皆さまの安心安全に寄与できるだけでなく、職員の運転に対する安全意識の向上にもつながるのではないかと思います。こうしたことから公用車へのドライブレコーダーの設置を推進すべきと考えますが、市の考えをお伺いします。

○財務部長
ドライブレコーダーについては、映像の提供や使用に伴うプライバシーの侵害、さら



公用車に設置されているドライブレコーダー

には設置費用や維持管理などさまざまな課題が指摘されていますが、あおり運転などの危険行為や犯罪行為に対する抑止力、状況証拠などに大きな期待が寄せられていることから、その必要性については十分認識しているところでです。

今後は、さまざまな情報の収集を行うとともに、課題の整理を行い、その解消に努めていきたいと考えています。

このほか
○胃がん検診とピロリ菌検査について
○都市計画道路大場大枝線並びに武里内牧線について

プラスチックごみの対応について



鈴木 一利
議員

プラスチックごみの問題が近年大きくなっており、特に海洋プラスチックごみが問題視されています。中でもマイクロプラスチックごみは回収困難であり、生態系や魚を食する人体への影響も大きく懸念されています。春日部市は河川に囲まれた立地ですのでプラスチックごみの河川等への不法投棄・ポイ捨てなどがゆくゆくは海洋汚染につながってまいります。

そこで以下伺います。

①プラスチックごみ問題への周知徹底の必要性について
②プラスチックごみ削減に向けた取り組みについて
③プラスチックごみ削減への春日部市が得る具体的な取り組みについて

○環境経済部長
①これまでの不法投棄やポイ捨てなどを防止する啓発内容に加え、プラスチックごみ問題についても、今後積極的に

周知に努めてまいります。

②ごみ減量化、資源化を進めるためには、環境問題への関心を持つことが重要となるため、「広報かすかべ」により啓発を継続的に繰り返し行い意識の醸成を図っています。

③名古屋市が2019年度から市の啓発グッズに使われるプラスチックを削減すると発表し、本市もこの取り組み内容を検討したいと考えています。

このほか
○プログラミング教育必修化について
○春日部市部活動の今後について

スポーツの力で春日部を元気に!



古沢 耕作
議員

今年度末までに、本市の体育施設整備基本計画が作られる予定ですが、多くの体育施設で老朽化が進んでおり、早急な対応が必要です。

例えば、牛島野球場のスコアボードが以前から故障している、また、各公民館や体育館にある卓球台の損傷が激し

く、早く直して欲しい、などの声を多く聞きますが、この対応策について伺います。

次に、現在本市では中学校の部活動のあり方に関する方針を策定中ですが、運動部についても「休養日」をきちんと確保するべきとの立場からお聞きします。休養日が増えることで、子どもたちにとっては、家族と過ごす時間が増える以外にも、他のスポーツ種目にチャレンジしたり、読書や映画を観て感受性を養う機会も増えます。また、社会問題となっている顧問の先生の負担軽減にもつながります。

そこで、休養日の方向性について伺います。

○社会教育部長
利用者の皆様が安心・安全にご利用できるよう、必要な修繕等を計画的に行っています。今後も優先順位を付け、計画的に施設の整備に努めていきたいと考えています。

○学務指導担当部長
休養日に関しては、お盆時期や年末年始等の学校閉庁日を市内の共通休業日として設ける方向です。

このほか
○小学生の登下校時の見守り活動について

小中学校の水道水の 安全対策について



今尾 安徳
議員

ある小学校の給食室の水道から赤水が出たと伺いました。栄養士や調理師さんたちの献身的なご努力と、学校施設課職員の早急な対応により、現在も安全でおいしい給食の提供ができております。

しかし、現場ではお湯の温度を40度以下に抑えなければならず、調理時・食器洗浄時には、再度の湯沸かしが必要で、調理員さんたちの負担が増えています。

そこで、以下伺います。

- ① 早急な湯沸かしを含む給水管の修繕について
- ② 市内小中学校の老朽化した水道管の計画的な更新について

○学校教育部長

①修繕については、3つの給水系統に区分けして原因箇所の可能性の高い系統から段階的に実施しています。現在、温水ポイラーを経由する温水系統の配管の修繕に着手して

おり、次に給食室棟への屋外系統の給水管の修繕、最後に給食室内の配管系統の修繕を予定しています。

②春日部市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修に合わせて必要な更新を行うことを前提とし、今後も学校と情報を共有して、必要な修繕を行ってまいります。水質管理は重要なことであるため、引き続き適正な維持管理を行いながら、児童生徒の安心・安全に努めてまいります。

このほか

○複合型子育て支援施設の充実に

病児保育について



永田 飛鳳
議員

他市の病児保育の取り組みとして、お迎えに行けないとき保護者に代わり、市の看護師・保育士がタクシーで迎えに行き、病院で受診した後、病児保育施設でお預かりする「お迎え型病児保育」があります。

子育てするワーキングママ

から「病児保育も病後児保育も利用したいけど、手続きで時間が取られるから仕事を休むのと一緒」という声が多く寄せられます。病児保育が浸透しないのは手続きの大変さも関係すると考えます。

お迎えのために仕事を早退する必要もなく、病院の診察で仕事の時間を割く必要もない「お迎え型病児保育」が本市でもできないものか伺います。

○こども未来部長

お子様の送迎について本市では、ファミリーサポートセンターや緊急サポートセンターにおいて、事業を行っています。

また、緊急サポートセンターでは、子育てをしながら働いている方のお子様を病気にかったときの預かりや、体調不良など緊急時における保育所の送迎や一時預かりなどに対応する事業もあります。

まずは送迎が必要なご家庭に対しましては、サポートセンター事業の利用を促進していきたいと考えております。また、複合型子育て支援施設における事業の充実については、利用者ニーズを把握しながら今後検討してまいります。

体育館・特別教室の エアコン設置について



木村 圭一
議員

本年11月7日に政府は平成30年度第1次補正予算を可決し、その中で「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」が創設されたと聞いています。

また、朝霞市では緊急防災・減災事業債という有利な起債を活用し、指定避難所となっている小学校の体育館にエアコンを整備する先進的取り組みを行っています。本市でもこのような国・県の交付金や、有利な財源が活用できないか研究していただいた後、有利な財源をもとに、まずは特別教室への設置、そして状況に応じて体育館へ設置できないか、本市の考えを伺います。

○学校教育部長

臨時特例交付金は、普通教室へのエアコン整備が優先的に採択されるもので、現時点での活用は難しいですが、ほかの補助金を活用することができそうです。

体育館は大空間である上に

断熱性が低いなど構造上の問題があること、電力等の供給設備整備に多額の費用を要すること、また省エネルギーや環境負荷の観点も含め検討する必要があります。設置は難しいと考えます。今後引き続き国や他自治体の動向を注視し、まずは特別教室のエアコン整備に向けて検討を進めていきたいと考えています。

このほか

○災害時におけるバイク活用について

○市内の無電柱化について
○24時間利用可能なAEDの設置及び推進について



普通教室に設置されているエアコン

新本庁舎について



山崎 進
議員

現在の市役所本庁舎は昭和45年に建築し、約50年が経過します。2011年の東日本大震災後に行った耐震調査の結果、今後大地震が発生した場合に倒壊の危険があるという結果を受け、旧市立病院跡地に移転、建て替えとなり、旧市立病院の建物を一部利用しながら新築することになりました。今後、100年くらい使用する庁舎ですので、市民の利便性などを考慮して、安心安全な庁舎の建築を願います。そこで以下伺います。

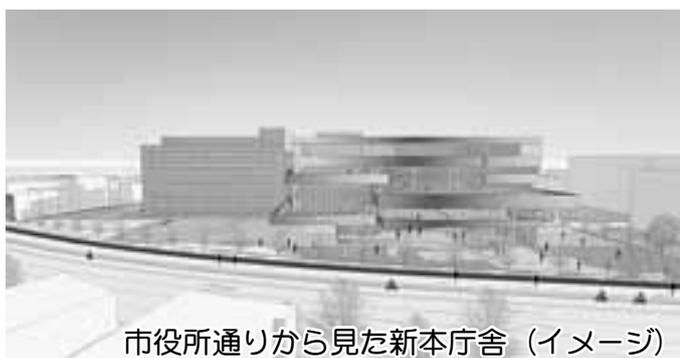
①旧市立病院の東棟を改修し、建て替えることによるコスト削減について
②新庁舎の特徴的な機能となる「まちの commonspace（市民が活用できるスペース）」の利用方法について

○公共施設事業調整担当部長
①標準的な単価による概算で新築に比べた改修による費用や解体をした場合の工費が

ら、東棟を活用した削減効果は大変大きいものと考えています。②市役所に来られた方の憩いの場、市民の皆様の新しい居場所となるように、土日の開庁やカフェの設置なども検討しています。なお、利用方法については市民の皆様アンケートを行い、その中で音楽コンサートやシテイセールス、農産物直売などの要望を多くいただいています。開催するイベントや貸し出し方法などの運用は実施設計を進める中で検討してまいります。

このほか

○体育施設整備について



市役所通りから見た新本庁舎（イメージ）

国保税の連続値上げをやめ、国保税引き下げを



並木 敏恵
議員

今年から国保税6年連続値上げが始まりました。この影響はいくらか。値上げによって、県内他市と比較して「所得割」「均等割」それぞれ何位になったか、それぞれ県平均はいくらかお示しく下さい。

値上げの根拠は、約14億円の赤字解消計画に基づくものですが、平成29年度決算の「実質」の赤字は約1億円で、連続値上げの根拠はなく、連続値上げは中止すべきです。また、春日部市の均等割は1人5万5800円で県下3番目に高い。県平均は1人約4万円。県平均並みに引き下げ、子どもの均等割は免除すべきです。

○健康保険部長

影響について、改定後は調定額ベースで約6800万円の増額になったものと試算しています。均等割額及び所得割額の県内順位と平均については、国保税は均等割額と所

得割額を合算した額が正確な税額となることから、公平に比較することは難しいです。

赤字削減解消計画の対象となる赤字額、約14億円は、県が定めた定義に基づき算出したものです。平成29年度の赤字額は1億円でなく、約7億5千万円になります。

均等割は応益負担の原則に基づき負担いただく税と認識しています。子どもを対象とした均等割額の減免は、現時点では考えていません。

このほか

○武里団地の再整備は住民の願いを最優先で

芝のサッカースタジアムについて



吉田 稔
議員

「芝のサッカースタジアムの創設を求める請願」が平成28年12月議会において全会一致で採択されて以降の進捗状況を、春日部市体育施設整備基本計画の現状を含めて以下伺います。

①市長公約「国際試合のできる大型サッカースタジアムので

創設を目指す」は、基本計画にどの程度反映されているか
②芝のサッカースタジアムの建設に向けての今後の具体的な流れについて
③芝のサッカースタジアム創設についての市長の考え

○社会教育部長

①現在策定を進めている計画では、ウイング・ハット春日部周辺の今後の整備に関する基本的なコンセプトを「誰もが集い、親しみ、交流が生まれる持続可能な生涯スポーツの推進拠点」とし、計画地に求められる施設として屋外競技場の整備についても検討を行っています。今後は芝のサッカースタジアムの創設も視野に入れ、屋外競技場の機能設備、規模などについても検討を行っています。

②現在策定を進めている計画に基づき、平成31年度からウイング・ハット春日部周辺の整備について具体的な計画の策定に取り組んでいきたいと考えています。

○市長

③子どもたちに夢や希望を与える施設となるよう、今後とも計画的に進めてまいります。

このほか

○予防医療について

市役所新庁舎について



山口 剛一
議員

新本庁舎の整備についての市民懇談会が11月に3回開催されましたが、関心の高かった建設事業費については、残念ながら公表されませんでした。今後予定されているパブリックコメント前までにはご提示いただけるということですが、現在の計画案に至るまで努力し、積み重ねてきたコストダウンに関する事例について伺います。

また、今の進め方は市長の意向に沿った形で進められているのか伺います。

○公共施設事業調整担当部長
コストダウンの検証の主なものとして、立体駐車場を平面駐車場にすること、壁紙や床材などの仕上げ材のグレードを差別化すること、無天井化があります。そのほかにも執務室の床吹き出し空調を天井吹き出し空調とすることがあります。既存棟の改修内容の検討では、外壁の改修を全

面張りかえから全面コーティングにする。また、既存棟の耐力壁を移動しないような工夫をする等、さまざまな視点から幾つもの検討を重ねコストダウンを図っています。

○市長

新庁舎建設に関しては、何回もさまざまな機会を捉えて大勢の市民の皆様に見解を伺いながら検証し進めてきました。今後も丁寧に説明をしながら実施設計、建設工事を着実に進めてまいります。

このほか

○富士見町地下道エレベーターについて

今後の子育て支援サービスの充実に向けて



荒木 洋美
議員

現在、社会構造の変化に伴い、子育て世代の環境も変化しています。核家族化、晩婚化、女性の社会進出による共稼ぎの子育て世代の増加、ひとり親家庭も増加傾向にあり、待機児童問題の顕在化等による低年齢児からの保育ニーズが増大しています。以上のこ

とから安心して子どもを産み育てる環境の充実が求められています。「保護者への支援として求めるのは保育所におけるおむつの処分です。」仕事を終え、子どものお迎えに駆けつけ、使用済みのおむつを持ちながら夕飯の買い物に行く。0歳児で8〜10枚、ビニール袋に入れても蒸れてにおいが漏れます。衛生面からいってもいい環境ではありません。紙おむつは公立保育所で一括処分をお願いしたいと思えますがいかがでしょうか。

○こども未来部長

ご家庭の負担や衛生面に対する不安があることは理解しています。本市の一部の民間保育施設では、既に取り組みが行われていますが、おむつの取り扱いはその施設の方針により異なっているという部分もあります。今後施設で処分を行う場合の臭気対策やストックヤードの問題等もありますので、各施設長からのヒアリングなども実施していきたいと考えています。

このほか

○男女共同参画の視点から地域防災活動の取り組みについて
○予防接種に助成を

グリーン購入について



会田 幸一
議員

オリンピック・パラリンピック開催が近づきつつありますが、今回のオリンピックはパリ協定の調印等、環境対応の充実が大きく進んでいることを受け、大会組織委員会は環境に配慮した商品・サービスを意識的に選ぶ「調達コード」を策定し、社会的責任を果たしていくという取り組みを進めています。そのような中、本市のグリーン購入に関する内容や今後の取り組みへの展望を伺います。

○環境経済部長

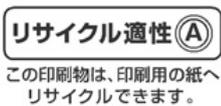
「春日部市役所が取り組む地球温暖化対策実行計画」では、グリーン購入を明確に位置づけ、これまでの取り組みを強化することを明文化しました。今後は、国による基本方針で特定調達品の中から、事務において必要なもの約100点を重点的に取り組む品目とし、順次見直しを行い、春日部市オリジナルのグリー

ン購入へと充実させていきたいと考えています。

また、市民の皆さんにも理解し共に実践していただく契機となるよう、市の方針や調達率の定期的な公表にも努めていきたいとも考えています。グリーン購入は全職員が共通して関わる環境活動であり、将来にわたる市の環境施策や地域づくりのレベルアップにも繋がっていく土台にもなることから、地道に着実に推進していこうと考えています。

このほか

○公用車の現状と課題について



環境ラベルマークの例

**スズメバチ駆除費
補助金制度の創設について**



栗原 信司
議員

スズメバチの巣の駆除に関しては、かつて平成23年にも一度取り上げました。地球の温暖化が進むにつれて、特にスズメバチの被害が深刻になっ

てきていることから市の対応を改めてお伺いします。

当時の答弁としては、近隣他市の状況として、駆除業者を紹介するとか、業者に委託するとか、駆除の際の費用に補助をするなど、自治体によってさまざま取り組みがされているようですが、市としては所有者や管理団体に駆除業者を紹介する方式をとっているとの答弁でした。しかし温暖化など自然環境の変化に伴い、上尾市では平成27年度から、栃木県小山市では28年から、深谷市でも本年から事業を始めました。本市としても市民の命を守るために方針を変更すべきではないでしょうか。

○環境経済部長

**実効ある空家対策の促進で、
住民の不安の解消を**



大野とし子
議員

ハチの巣の駆除は土地の所有者または管理者が判断し、責任を持って行うことが原則で、現状では所有者、管理者が適切に対応されているものと認識しているところです。市としては緊急性があり、市民の皆さまに危害を及ぼす恐れがあると認められる場合につきましては、市においてスズメバチの巣の駆除を実施させていただきます。

このほか
○春バス・カーシェアリング・移動手段の拡充策について



スズメバチの巣の駆除 (イメージ)

春日部市は、この間の調査で、1108件の空家、そのうち特定空家等になる可能性があるものは66件あることがわかってきました。この秋の台風24号で空家周辺の皆さんが、大変不安な日々を過ごしたという事例に直面し、改めて空家対策の重要性を認識したところです。

空家は樹木や雑草の繁茂や害虫などの環境の悪化、防災防犯などの問題など多岐にわたります。空家対策は喫緊の課題と考えますが、市の認識を伺います。

また、市が作成した空家等対策計画のアンケートには、空家解体の財政的支援が必要との声が多数寄せられています。市は空家等リノベーション助成制度を考えているようですが、管理不全空家等の解体が促進されることが重要という観点から解体だけの補助も併せて創設すべきと考えま

すが、市の認識を伺います。
○都市整備部長

空家は近隣住民の生活環境に、深刻な影響を与える可能性があります。空家対策は地域の活性化など、まちづくりの視点から早急に進めるべきと考えています。また、空家は活用されて新たな価値が生まれると考えていますので、解体した敷地に建て替えをした場合の助成を検討しています。

このほか
○住民の命を守るために、庄和総合支所にも、災害対応の拠点を

**春日部市内における
水害被害について**



榛野 博
議員

昨年も本年も天候にとても苦しめられた記憶があります。特に雨には大変驚かされることばかりでした。春日部市は埼玉県と連携し、100ミリ安心プランの申請を行い、登録することができましたが、この市と県とで行う100ミリ安心プランの取り組みがど

のようなものか伺います。
○建設部長

100ミリ安心プランは埼玉県と本市が連携し、河川事業と下水道事業を一体的に実施することで浸水被害の軽減を図る制度で、平成27年11月に県内初でプランの登録を受けています。対象区域は1級河川新方川と会之堀川流域で、平成28年度から37年度までの10年間で浸水対策を重点的に実施していくものです。

現在、県では会之堀川の整備を終え、新方川の改修を進めており、本市では平成29年度に備後西ポンプ場の排水能力を約4倍にする増設工事を完了し、準用河川安之堀川の整備に向けて詳細設計と用地買収を進めているところです。また、プランに登録されていない区域についても、河川の流下能力を強化するための河川整備や、雨水の流出を調整するための貯留施設の設置、内水の排除が難しい地域で雨水を強制的に排水するためのポンプ場整備を行い、浸水被害軽減に向けて雨水対策に取り組んでいます。

このほか
○公共施設と道路計画について

予防接種の補助について



卯月 武彦 議員

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種は、生涯で一度だけ補助（自己負担2500円）を受けられます。しかし、来年度からは、65歳に限定されることとなります。65歳で受けたのでは肺炎にかかるリスクの高い高齢になったときに効力がなくなってしまう。65歳にせず、いつでも受けられるようにすべきではないでしょうか。また、全額補助すべきではないでしょうか。

風疹の流行が大きな問題となつています。風疹ワクチンの予防接種について、市の対応を伺います。また、すべての人を対象に無料で行うべきではないでしょうか。

健康保険部長
高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種については、国の県の動向を見きわめ変化があった場合には適切に対応してまいります。なお、費用については希望者のみが接種するもの

であるため一部助成としていきます。

風疹の予防接種について、本市では妊娠を希望する夫婦を対象とした助成制度の準備を進めています。この助成制度は、胎児に及ぼす悪い影響を防ぐことを目的に、妊娠を希望する夫婦を対象とし、過去に接種する機会があった人を救うためのものであるため一部助成としています。

このほか

生活保護制度について
住宅リフォーム助成制度と空家等リノベーション助成制度（仮称）について

春日部市は何故、北朝鮮による拉致問題を軽視するののか



井上 英治 議員

私は過去、平成24年12月議会にて人権施策推進指針について、29年3月議会にて総合振興計画について、拉致問題が人権項目の中に記載されていないことを指摘し、記載されるようになりましたが、今回、「春日部市の教育」の中にも記載漏れがあることを発見し

ました。教育委員会は人権指針も総振も修正されたことを無視し、拉致問題を軽視するの、人権感覚について伺います。また、来年から「春日部市の教育」には記載するのか、併せて学校教育、人権の集い等での拉致問題の取組状況についても伺います。

社会教育部長
拉致問題は重大な人権侵害事案と認識しています。被害者、ご家族の皆様を苦しめる共有し一刻も早く帰国できるように、理解と認識を深めていくことが重要と考えています。

春日部市の教育」については、人権を尊重するまちづくりを推進していく姿勢が明確になるよう、総合振興計画の表現との整合を図っていきたいと考えています。

市内小中学校では昨年度、校内の人権研修で6校、児童生徒への指導で4校が拉致問題を取り上げています。

総務部長
様々な取り組みを継続し、北朝鮮拉致問題を含めたあらゆる人権問題の解消に向けた意識の高揚を図っています。

このほか
春日部市立図書館の雑誌の在り方について

前進させよう！
春日部の都市計画



岩谷 一弘 議員

春日部市の未来を前進させるために、極めて重要な、新たな住居系・産業系の都市開発の基本的な計画と考え方はどういふものなのか。また、北春日部の開発、多世代が暮らせる開発について質問します。

都市整備部長
新たな都市計画マスタープランや立地適正化計画では、駅を中心に歩いて暮らせるまちづくりを行い、拡散型から集約型の都市構造への転換を図っています。駅周辺には生活利便施設を立地誘導し、その周辺には居住誘導を図り、公共交通でアクセスできる、いわゆる多極ネットワーク型コンパクトシティの構築を目指すこととしています。

一方で、物流や工場などの産業系の土地利用は、インター周辺や幹線道路周辺の産業団地に誘導、集約していくことが本市の都市計画の考え方

です。

北春日部駅周辺地区の開発は、地権者で構成する組合による土地区画整理事業を実施し、事業区域面積約40・5ヘクタールを整備し、新たなまちをつくり出していきます。地区内には約3000人が居住する、約1000戸の低層住宅を展開し、交通の利便性と豊かな自然環境を生かして1区画が大きく、多世代が住み続けられるゆとりのある住宅地を形成していきます。

このほか
活かそう！かずかべ未来研究所



北春日部駅周辺地区の開発 (イメージ)

死亡手続きの窓口 ワンストップについて



武 幹也
議員

市内の高齢者世帯が増加し、一人暮らしの高齢者も増えてきています。毎月訃報にも絶え間なく接する昨今です。中でも相続を初めとする広範にわたる諸手続きは、予想以上に高齢者にとって困難をきわめます。本市では、市民課において「お悔やみの手続き一覧表」を手に、精神的に疲弊したご遺族が対象となる各窓口で記入ミスや記入漏れがないように平均6〜8回、申請しているのが現状です。新庁舎においては、別府市で実施している「おくやみコーナー」と同様な取り組みをぜひ実施できないか伺います。

○市民生活部長

別府市のおくやみコーナーですが、死亡届提出後の手続きについて、必要な課所への案内と関係書類の作成を補助していると聞いており、必ずしも全てワンストップで手続きが完了するものではないよ

うです。

新本庁舎においては、春日部市本庁舎整備基本構想の中で、人に優しい庁舎を基本方針の一つとし、誰もが利用しやすい、わかりやすく機能的な庁舎として基本設計を行っていますので、おくやみコーナーを設置しなくても、死亡時の手続きにおけるご遺族等の負担軽減を図ることは可能であると認識しています。

このほか

○(仮)財政健全化条例について
○まちづくりとマンホールについて



いろいろな死亡手続きに悩む市民 (イメージ)

子どもたちの 登下校について



石川 友和
議員

通学路によっては、車の通りはなくて安全であっても、人通りが少なく、不審者に襲われてしまうような危険と思われる場所を通って帰らざるを得ない状況もあるかと思えます。通学路は、子どもたちが交通事故に遭わないような安全な道を選択されているかと思えますが、不審者対策に関しては、まだ不十分だと私は思います。

このような危険と思われる箇所を市はどのように把握している、どのような対策を講じているのか伺います。

また、登下校時の名札の着用についての現状と市としての考えを伺います。

○学務指導担当部長

国が策定した登下校防犯プランの趣旨を踏まえ、教育委員会学務課が中心となり、春日部警察署、各小学校、さらには市の関係部署が連携して通学路の合同点検を実施し、

危険箇所の状況把握と今後の対策を検討しています。

登下校時に名札を着用させていない学校は、小学校24校中20校です。

子どもたちをとりまく社会の変化に伴い、学校の対応も変化しており、これまでも検討課題としてきましたが、子どもたちの安心安全を第一に考え、防犯対策の一つとして今後、登下校時は名札の着用をしない方向で検討していきます。

このほか

○小中学校のネットいじめについて

政務活動費 収支報告書及び 領収書等の公開

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。

政務活動費の収支報告書及び領収書等を市議会ホームページで公開していますので、ご覧ください。

なお、政務活動費の収支報告書については、議会事務局のほか、市役所本庁舎及び庄和総合支所の市政情報室でも閲覧できますので、お問い合わせください。

傍聴して一言

施設の老朽化は春日部市外の方から見ると汚い、整備が行き届いていないと悪いイメージにつながると思います。市民としては残念に感じます。

女性・54歳

質問に対して回答に具体性がない。回答に対して基本的なことがもれているようである。全体的にもう少し詳細な数字で示すと納得性がある。

男性・78歳

議会の内容、一問一答は市民として知っているべきと思いい、楽しいものでした。来れば来たでよかったと思える内容でした。

男性・76歳

空家対策はよくわかりましたが、廃墟に対する対策も急務だと思えます。廃墟は防犯や近隣の不動産価値が低下します。また、その周辺で発展はありません。

男性・64歳

※割愛させていただいた部分もあります。

常任委員会行政視察

(◎委員長 ○副委員長)



総務委員会 (金沢市)
◎鈴木 一利 ○海老原光男 卯月 武彦
佐藤 進 荒木 洋美 会田 幸一
山崎 寛美



厚生福祉委員会 (富山市)
◎水沼日出夫 ○山回 剛一 並木 敏恵
鬼丸 裕史 滝澤 英明 永田 飛鳳
栗原 信司 中川 英明



建設委員会 (東大阪市)
◎木村 圭一 ○尾 安徳
坂井 勝久 金谷 進一
河井 美久 岩谷 一弘
井上 英治
古沢 耕作



教育環境委員会 (盛岡市)
◎石川 友和 ○吉田 稔
榛野 博 大野 とし子
小久保博史 武 幹也
酒谷 和秀
松本 浩一

閉会中の委員会活動

▽総務委員会
10月17日～19日

・行政視察

岐阜市 (多文化共生推進計画について)

大垣市 (ICT戦略ビジョン及び大垣市情報工房について)

金沢市 (協働のまちづくり推進事業について)

▽厚生福祉委員会
10月15日～17日

・行政視察

上田市 (健康都市の実現に向けた取り組みについて)

富山市 (富山市まちなか総合ケアセンターについて (産後ケア事業・お迎え型病児保育事業等))

金沢市 (金沢市地域福祉計画について)

▽建設委員会
10月23日～25日

・行政視察

東大阪市 (総合雨水対策アクションプランについて)

豊橋市 (豊橋市空家等対策計画について)

沼津市 (沼津駅周辺総合整備事業について)

▽教育環境委員会
10月16日～18日

・行政視察

盛岡市 (いわぎんスタジアムについて)

多賀城市 (多賀城市立図書館について)

白河市 (白河ブランド(白河市農産物ブランド)について)

▽議会運営委員会
11月5日～11月7日

・行政視察

敦賀市 (議会改革の取組及び議会運営について)

小浜市 (議会改革の取組及び議会運営について)

舞鶴市 (舞鶴市議会活動基本計画について)

11月20日
・平成30年12月定例会の運営について

▽全員協議会
12月13日

・春日部市本庁舎整備基本計画の策定について

▽広報広聴委員会
12月21日

・議会報告会の検証について

・議会だより第54号について

1月7日
・議会だより第54号について

次の定例会は 2月18日(月) 開会予定です

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。

傍聴席は56席(車イス傍聴席2席含む)です。

本会議は、通常午前10時から開催します。

合計	今定例会傍聴状況									
	14	12	11	7	5	12/4	30	28	11/26	月日
190	8	45	16	43	11	35	14	15	3	傍聴者数
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	質疑	上程・説明	主な日程

**議会報告会を
開催しました**

市議会では開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。今回は10月28日(日)に市役所2階の議場において開催し、前半は9月定例会の決算議案を中心に報告を行い、後半は各委員会室等で4つのグループに分かれて、皆さまからご意見などを伺う意見広聴会を行いました。

お忙しい中、ご来場いただきました皆さまには、貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございます。

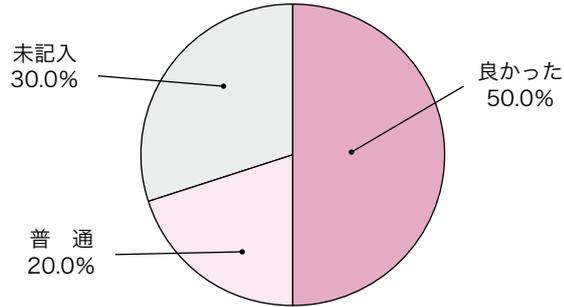
なお、市議会ホームページでは、当日配布しました資料やアンケートの集計結果などを掲載していますのでご覧ください。

春日部市議会

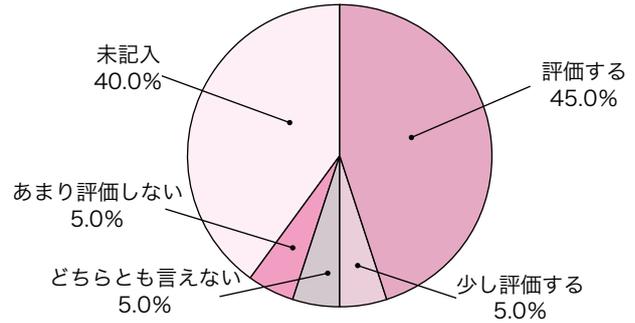
検索

議会報告会アンケート集計結果 (一部抜粋)

議場で議会報告会を開催したことへの評価



グループに分かれた意見広聴会を開催したことへの評価



他議会からの視察受入状況 (平成30年度)

No.	来庁日	来庁議会	視察内容
1	平成30年 5月 8日	山口県岩国市議会	官学連携団地活性化推進事業について
2	平成30年 5月 22日	京都府城陽市議会	自治体シンクタンク (かすかべ未来研究所) について
3	平成30年 7月 4日	広島県福山市議会	川の駅整備事業について
4	平成30年 7月 6日	北海道旭川市議会	「春日部市民の日」制定について
5	平成30年 7月 25日	愛知県岡崎市議会	かすかべ未来研究所について
6	平成30年 7月 25日	長野県上田市議会	企業誘致について
7	平成30年 10月 10日	愛知県瀬戸市議会	市民協働について
8	平成30年 10月 16日	京都府京丹後市議会	春日部市豊野環境衛生センター・汚泥再生処理センターについて
9	平成30年 10月 23日	佐賀県小城市議会	かすかべ未来研究所について
10	平成30年 10月 26日	京都府八幡市議会	小中一貫教育の取り組みについて
11	平成30年 11月 2日	鳥取県米子市議会	認知症初期集中支援チームの取り組みについて
12	平成30年 11月 8日	兵庫県加西市議会	春日部市シティセールス戦略プランについて
13	平成30年 11月 13日	大阪府河内長野市議会	春日部市立小・中学校普通教室等エアコン整備PFI事業について

今年度も多くの市議会が本市の特色ある事業等を視察に来ています。

編集後記

春の訪れが待ち遠しい季節、市民の皆さまにおかれましては、健やかに過ごしていきましょう。

この度、市政や市議会に関心をお持ちいただくため、冊子「市議会へのご案内」を作成いたしましたので、そちらもご覧いただければ幸いです。さて、「平成」も残りわずかとなりました。時代の転換期に市政に携わることの責任の重さを自覚し、議員一同、懸命に取り組んでまいります。

広報広聴委員会

- 委員長 古沢 耕作
- 副委員長 坂巻 勝則
- 委員 榛野 博
- 委員 石川 友和
- 委員 今尾 安徳
- 委員 吉田 稔
- 委員 鈴木 一利
- 委員 武 幹也
- オプザーバー
- 議長 鬼丸 裕史
- 副議長 荒木 洋美

〒344-8577
埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線 3116

再生紙を使用しています。